



九里学園高等学校
図書委員 川島印刷
TEL 21-5511 (代)

ペスタロッチ って 誰

世界最強の先生を調べる

3-6 小野香保里

十一月、理事長先生がペスタロッチ教育賞を受賞されましたが、今回はそのペスタロッチってどんな人なのか、図書館の本をいろいろと使って調べてみました。



●ペスタロッチはスイスの人
彼は一七四六年一月スイスのチューリッヒで生まれています。六歳の時、外科医であった父が亡くなりますが、母スザンナと家事手伝いの二人によって大事に育てられます。この経験が後に彼を恵まれない人々と共に生きる仕事にむかわせることになるのです。

チューリッヒ大学で学び、理想主義に燃える彼は二十三歳のとき農園を開き、農業の改良でみんなが貧しさを克服できると考えたのです。しかし、自分の天職は学校で教えることだと気がつきます。そして二十九歳のとき、農場に「貧しき者の家」を創立し、孤児をあつめて教育

をはじめます。ここで子供達の個性をよく観察し、本を書きます。このことが後に教育史上の宝といわれるのだそうです。彼は個人個人が自らを向上させるのを援助することが、社会全体を改善できる道だと考えたのです。

●世界中の指導者たちから注目されるようになる
彼は五十四歳から少年のための全寮制の学校をつくりま

す。そして、子供のもっている能力を発達させるには適切な環境が必要だとか、物を観察することの大切さとか、直観が重要だといった方法論で子供たちを教育していきました。やがて、世界の指導者から注目されるようになりま

●学校が廃校になる
ペスタロッチの方法は「記憶でなく、理解が大切だし、子供自身も持っている才能を開かせる」というものでした。したがって彼の教育を徹底するには少人数教育が理想でした。そんな彼は、学校に生徒が増えしまい、一人一人きちんと育てることができないと嘆いたそうです。おりしも教師間に内紛が生じたり、すべての人々の心のよりどころであった妻アンナの死もあつたりして廃校になってしまいました。

●こんなエピソードがあります
★生涯彼を支えた妻アンナは彼より七歳も上でした。彼の



孤児たちを救おうとする純真な心にひかれて、親戚中の反対をおしきつて結婚したのだそうです。

★ロシアの教育改造と奴隷解放を説き、熱心さのあまりその地位も忘れ皇帝につめより、皇帝が壁まであとわずか

★八十一歳という高齢で毎日川原に小石を拾いに行き、ポケット一杯つめて運んだそうです。「貧しい人たちは薪も買えず寒いだろう。小石を敷いてその上にワラを敷いて寝ると温かいから」という理由からです。

友情を深めようの会だった

九里、米工、米商の三校合同「百人一首を楽しむ会」が商業高校を会場に行われました。三校合わせて約六十名が参加しました。僕達二年一組は図書委員ではありませんが、クラスマッチの練習という事で参加しました。僕は中学の時に一回しかことがありませんでしたが、ルール等を忘れていたので最初は全然札が取れませんでした。この三校合同「百人一首を楽しむ会」に参加して驚いたのは、商業の方々のゲームです。読み手の

三校合同 百人一首を楽しむ会



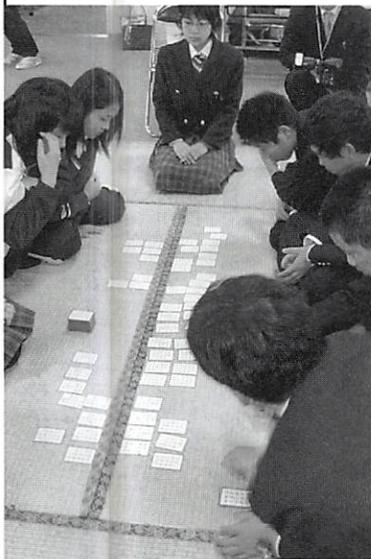
2年1組
齋藤 龍也

次回の会場は、工業だということですが、結構楽しめたので、次回も参加しようかと思っています。

人が上の句を読み始めてすぐにバシッと札を取っているのを見て、すごい!!と思いました。午前中だけなので二ゲームくらいしかできませんでしたが、商業、工業の人達とチームを組んだりして、楽しくゲームができて、なんだか、「百人一首を楽しむ会」と、言うより、「友情を深めようの会」みたいな感じでした。この三校合同「百人一首を楽しむ会」は、二十年前から行われてきた行事だそうです。クラスマッチの練習にもなるので、これからも続けてほしいと思います。



米沢商業高校にて
12月13日



1月19日・20日
後輩よ向かってきてくれ
相手をしようじゃないか

三年六組
石山 稚智

自分の札は手元にある。取りたい札の場所も把握した。落ちつこうと少し息を吐き、吸う。もう一度全体を見回す。よし、いざ尋常に勝負！「優勝する」という事は、私達選手内での、暗黙の了解だったらしい。そんな心中、「負ける」という言葉が出たのは一度きり。準決勝、二年五組が相手の時に、誰かがそう呟いたのだった。もしかしたら気心知れた後輩のいる事か、余計にその感を強くしたのかもしれない。

百人一首クラスマッチ

事は起った。札を取れと脳が神経を動かす。網膜が像を焼く。見つけた。句を呟く。手が、動いて、取った。息が熱い。ゆっくりと緊迫感を作り、そしてお互いの熱をぶつけ合うのだ。これが戦いだ。と本気で思った。戦いは、相手を倒す事が第一的な訳だから。かと言って血も涙も無い訳ではない。楽しいと思えば、それで良いのだ。皆の、自分への期待を裏切る事なく、私達は優勝した。対三年四組戦が終り、顔を見合わせ、笑う。二年と少し前から、歌を覚えるのが面白かった。今年も楽しかったね。うん、本当に。来年も出れば良いのだけれど、傍迷惑にも願わずにはられない。後輩よ、下克上という武器を持って、向かって来るといい。相手をしようじゃないか。

クラスマッチ結果

- 優勝 3年6組
- 準優勝 3年4組
- 第3位 2年5組
- 第4位 2年4組

図書館貸し出し

ベスト10

4月～1月15日現在

- 一位 三六 山崎奈津美 87冊
- 二位 三七 齋藤美由希 81冊
- 三位 三七 情野 香 68冊
- 四位 三五 岩間 里美 64冊
- 五位 三六 石山 稚智 63冊
- 六位 三六 小野香保里 57冊
- 七位 三七 嵐田 智美 56冊
- 八位 二五 出口 良子 48冊
- 九位 三一 寒河江岳彦 39冊
- 十位 三七 佐藤 広子 37冊

ファンタジー大好きの原点は

「はなはなみんみ物語」

三年六組 山崎 奈津美

子供の時は、本が苦手だった。本を読むより、マンガやテレビを見ている方が好きな子供だった。気付けば、一日中テレビをつけている始末だ。アニメのビデオテープがすりきれるまで、眺めていたものだ。話す動物達、空飛ぶベッド、架空世界の類々。この時に、私のファンタジー好きが作られたと言っている。小学校の読書感想文は、いつも薄い本を読み、頭を悩ませながら書いていた。五年生の夏も薄い本を探していた。そして、まさに、運命的に一冊の本に出会った。わたりむつこさんの「はなはなみんみ物語」だ。厚い本だと当時の

虫の弁明



私は思ったが、なにげなく本を手にとった。題名がおもしろかったからだ。表紙の絵が、やわらかい線で描かれている。あらずじに「小人」と書いてあった。小人のおじいさんが石うすを回しながら、歌をうたう。彼等の生活は、どこかママゴトを思い出す。それでいて、無駄なく物を使っている生活感がある。一番興味をひかれたのは、小人達が空を飛ぶ所だ。私は夢中になり、初めて真剣に本を読んだ。

私は完璧にファンタジーの沼へ、頭まで浸かってしまった。居心地の良い場所だと、くつろいでいる。たぶん私は、死ぬ間際までファンタジーを読んでいる。

主人公

私の好きな

大内美予子 著 「沖田総司」

美しく生き切った彼はやはり美男子だ

3年4組 島 貫 淳 美

二十五歳という若さで結核で亡くなった天才剣士がいる。新撰組一番隊長・沖田総司である。私は彼が好きだ。

彼は、天然理心流を学び、十代という若さで免許皆伝を受けた。そして尊敬する局長の近藤勇と副長の土方歳三の新撰組に入った。京の都を守るといのが彼らの仕事である。

新撰組は幕末、滅びゆく武士社会の中で武士というプライドを示した最後の集団として輝いている存在だった。開国して新しい時代がくることがわかっていながら、徳川の封建的な秩序の中におくことが彼らの意地でもあったし、美学だったのだと思う。

新撰組は規律正しくギリギリ自分達を追い込んでいた。そして沖田は、結核に冒される。しかし、彼は労わられるのは嫌だった。なぜ自分だけがこんな病をという思いをいつも背負っていたからだ。人は死と直面すればする程、立派に美しく生き切りたいと思うのではないだろうか。沖田総司の魅力はそこにあるのだと思う。私はここに彼の「強さ」を感じた。

また、彼は隊員では一番若く、背が高く、よく笑う人だったということもあって、私の想いはどんどん彼へ傾斜していった。鈴木亨著の「新撰組一〇〇話」によると、彼は美男子ではなかったとあった。しかし、私は人生を武士道精神のために命を賭けようとした彼をやはり「かっこいい」と思う。そして、私の中では最高の美男子である。



名著の伝記 <その3>

「アングル・トム
の小屋」

が
戦争のひきがねに...



トムは善良な黒人奴隷です。彼は、競売にかけられ、はじめはやさしい白人の主人の下で暮らしますが、その主人の死で再び売られ、悪魔のような人を買われ、ムチの責め苦で働かされ、悲惨な運命をたどるのです。この本で多くの方が心を痛め、トムに涙しました。人間らしく平等に生きられる社会でなければと、みんな思ったのです。
著者は、ストーリーという六人の子供を育てながら小説を書いている作家です。彼女は、キリスト教的人道主義の立場から奴隷制度はあつてはならないと訴えたかったのです。
一八五二年に出版されるやたちまちベストセラーになり、二百万以上の人を奴隷制度反対に導いたのです。十年を経てアメリカに南北戦争がおこり、リンカーンが奴隷解放をしますが、もし、この小説がみんなに行き渡っていなかったら、この大事業は成功しなかったであろうと言われています。

宮沢賢治の里から
花巻東高来校
交流会

十一月二十五日
昨年十一月二十五日の五・六時間目、宮沢賢治で有名な岩手県花巻から、天候の悪い中、花巻東高校の学習メディアセンター委員会（図書委員会）の方が、私達図書委員との交流会を行うために来校しました。
交流会は、各テーブルごとに自己紹介やお互いの高校の話などをしました。花巻東高校の図書館はメディア化が進んでおり、本の貸し出しをコンピュータでしているそうです。



終わりの時間がせまってきた

地区図書委員研修会 9月30日
受け手の立場に立って楽しくつくる

九月三十日に米沢中央高校で地区の図書委員研修会が行われました。今回は「魅力あるPRの方法」ということでデザイン学校の先生から広報紙、ポスターをつくるにあたってのポイントについて教えてもらいました。

各校で事前に作ってきた本の紹介のポスターを発表しました。そこで我が校の東海林さんが描いた「みんなのこえが聴こえる」というポスターが三枚のうちの一つに選ばれました。しかし、力作ではあるが受け手側の視点にポイントをおくべきだったのではと言われました。ポスターで大事なことは、伝えたいことを明確にし、受け手の立場に立って楽しく制作することで、作っている時の気持ちは作品に表れるそうです。なるほどと納得できました。(一五 椎野 友紀)



活動を
ぶりがえって

本の主人公が
背中を押してくれた

私は、図書委員会に入ったことで変わることができたと思います。私は一年の前期から図書委員になりました。その頃の私は、自分の行動に自信を持つことができず、一年後期のクラス読書会で「生きてます、15歳」を読み、読書会を成功させたことで、自分の中に「やればできる」という自信のようなものが生まれまし

た。この本の主人公がハンデに負けない力で私を後押ししてくれたのだと思っています。図書委員会で三年間九里祭などの大きな行事をやりとげてきて、協力して何かを成功させる楽しさを知りました。その気持ちを後輩たちも感じてほしいと強く思います。

編集後記

最後まで3年生が頑張りました。この誌面が最後まで飾りきれいなものを作りました。みなさん、ぜひ読んでください。(3年 小野)